

1-5. 安倍・彦名団地

安倍・彦名団地は、JR境線の河崎口駅の南方約1.9kmで主要地方道米子・境港線と中海の間に位置しており、約360m四方の総面積約13haの埋め立て地である。

1) 造成履歴

安倍・彦名団地は、昭和60年代頃に埋め立てられて平成元年頃から用地の売却を行っており、埋め立ては航路や泊地の浚渫土砂及び埋め立て地前面の海底から採取した土砂をポンプ船で吹き込んで造成している。なお、団地の南側の一部は、ペーパードレーンを打設してサーチャージ盛土を施工している。

2) 旧地形図

安倍・彦名団地において現在入手可能な国土地理院発行の地形図には以下の地形図がある。

- ① 大正7年
- ② 昭和52年
- ③ 昭和59年
- ④ 平成2年
- ⑤ 平成10年（現在発行されている最新地形図）

以上の年代における地形図を並べて変遷を示したものが図1-5.1である。

3) 過去の空中写真

安倍・彦名団地において入手した空中写真を以下に示す。

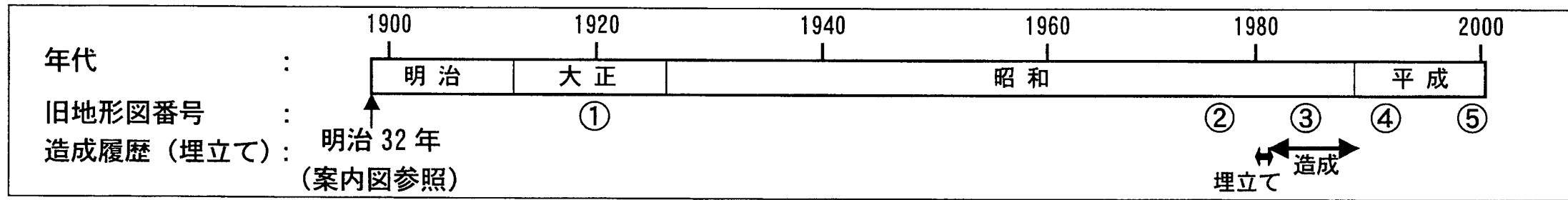
- ① 昭和42年
- ② 昭和48年
- ③ 昭和50年
- ④ 昭和51年
- ⑤ 昭和59年
- ⑥ 昭和62年
- ⑦ 平成12年10月7日地震直後

以上の年代における空中写真を並べて変遷を示したものが図1-5.2である。

4) 埋立の時期・経緯

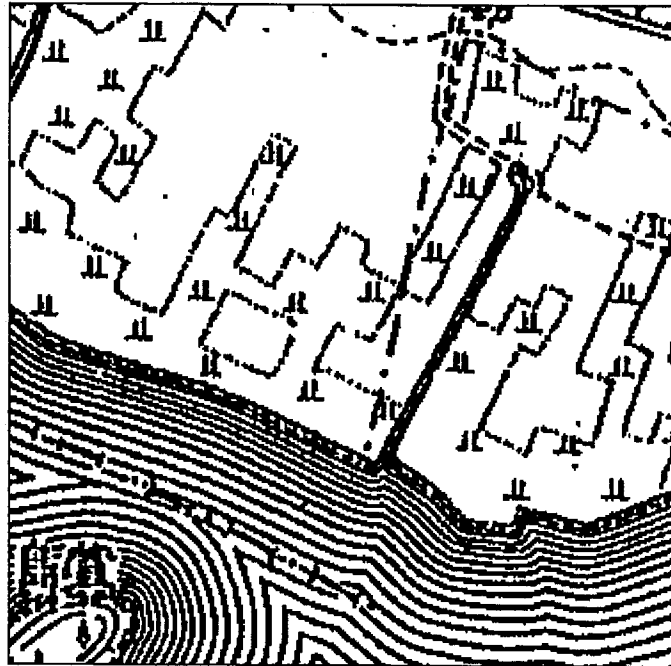
安倍・彦名団地は、下記の埋立履歴となっている。

- ・ 用地買収：昭和59年12月～昭和60年9月（水田が半分以上、他は畑）
- ・ 盛土：昭和60年5月～昭和61年7月（サーチャージ盛土）
- ・ 造成：昭和61年4月～平成元年6月
- ・ 分譲：昭和62年～平成3年



安倍彦名団地

①大正 7 年



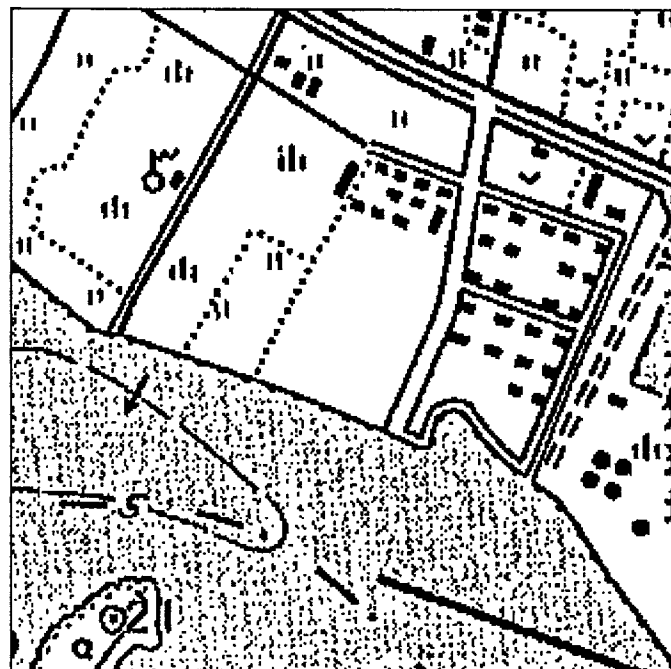
②昭和 52 年



③昭和 59 年



④平成 2 年



⑤平成 10 年

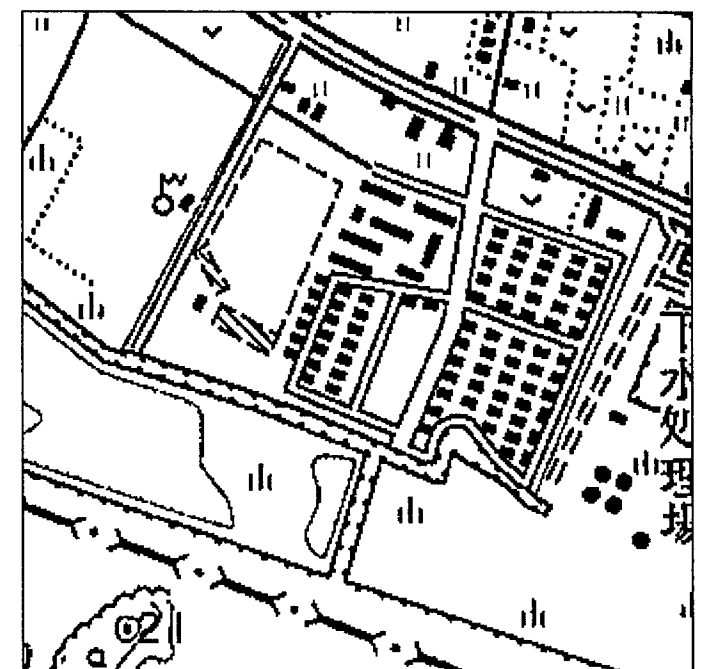
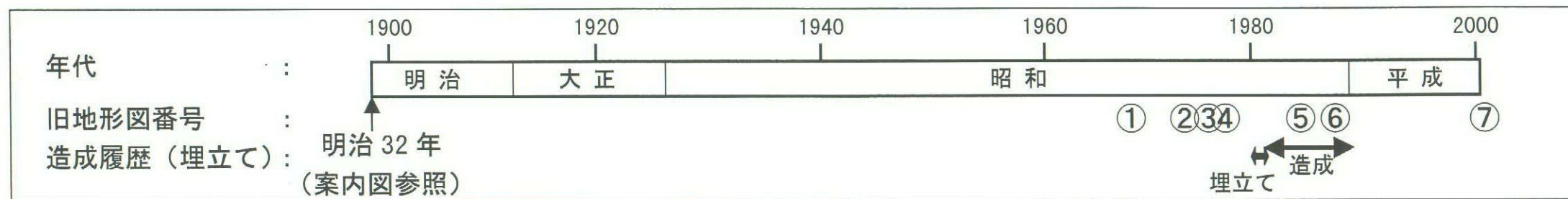
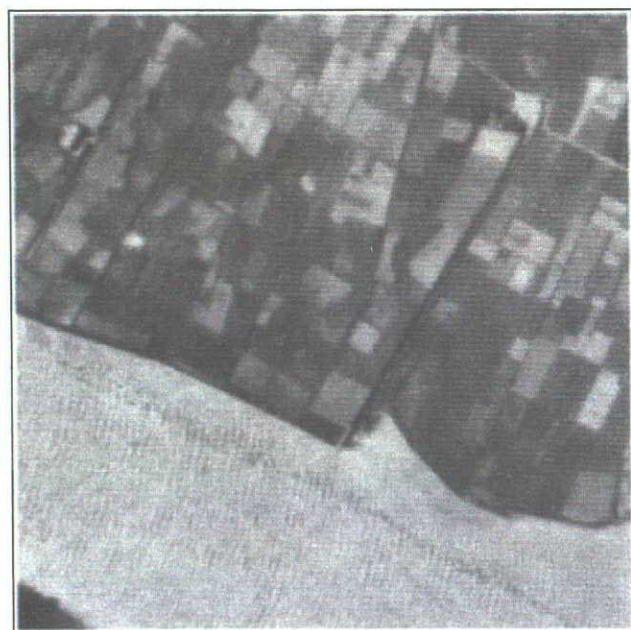


図1-5.1 地形図による変遷 (安倍彦名団地)

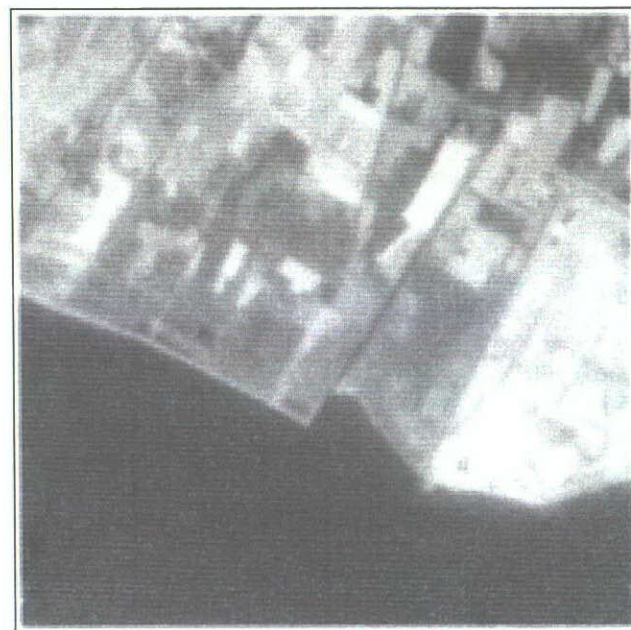


安倍彦名団地

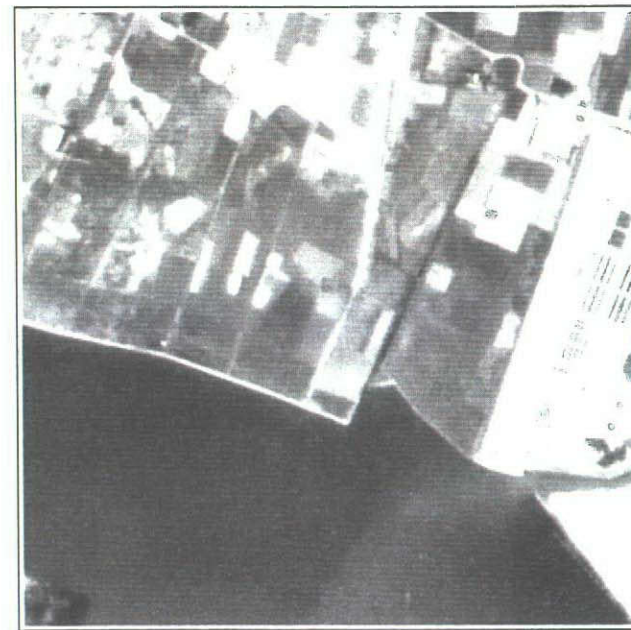
①昭和 42 年



②昭和 48 年



③昭和 50 年



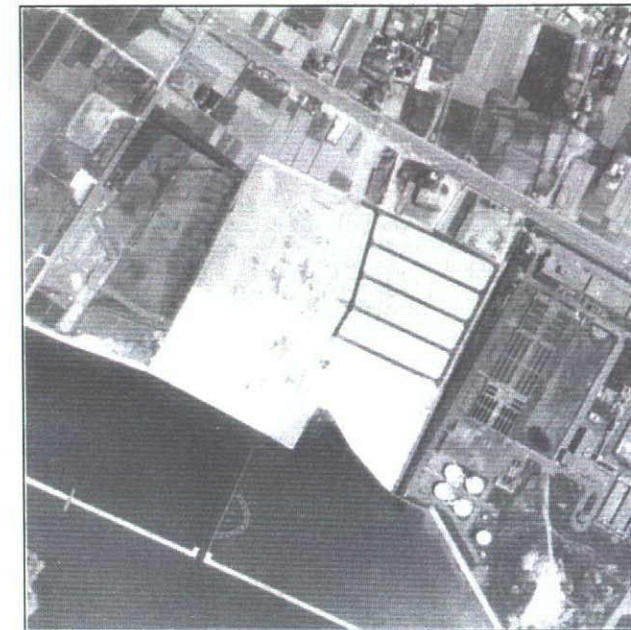
④昭和 51 年



⑤昭和 59 年



⑥昭和 62 年



⑦平成 12 年 10 月 7 日 地震直後



図 1-5. 2 空中写真による変遷 (安倍彦名団地)

1-6. 弓浜干拓地

弓浜干拓地は、弓ヶ浜半島の中海側に位置する幅0.7km、長さ約2.2kmの干拓埋立地である。干拓地内は農業用地として利用されている。

1) 造成履歴

弓浜干拓地は、昭和44年度から昭和55年の間に外周堤防の埋立整備が行われている。また、埋立工事は昭和51年に着手し、昭和58年度の完了している。

2) 旧地形図

弓浜干拓地において現在入手可能な国土地理院発行の地形図には以下の地形図がある。

- ① 大正4年
- ② 昭和50年
- ③ 昭和58年
- ④ 平成2年
- ⑤ 平成10年（現在発行されている最新地形図）

以上の年代における地形図を並べて変遷を示したものが図1-6.1である。

3) 過去の空中写真

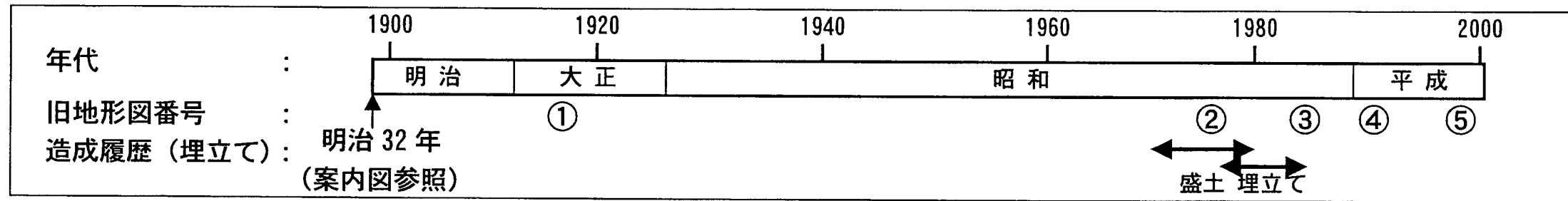
弓浜干拓地において入手した空中写真を以下に示す。

- ① 昭和42年
- ② 昭和48年
- ③ 昭和50年
- ④ 昭和51年
- ⑤ 昭和59年
- ⑥ 昭和62年
- ⑦ 平成12年10月7日地震直後

以上の年代における空中写真を並べて変遷を示したものが図1-6.2である。

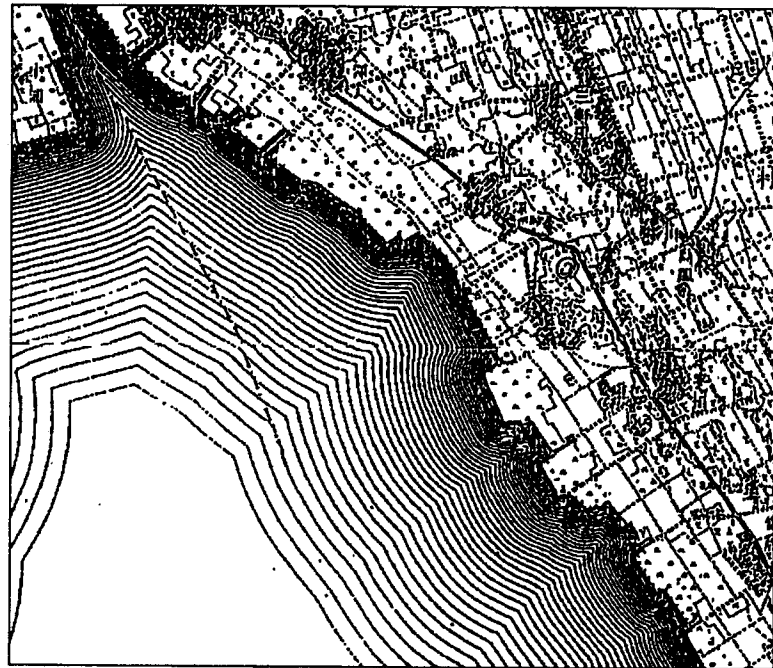
4) 埋立の時期・経緯

空中写真から、昭和48年の写真で外周堤防は既に埋立整備が行われていること、干拓地内の埋立工事は昭和51年から昭和59年に行われたことがわかる。



弓浜干拓地

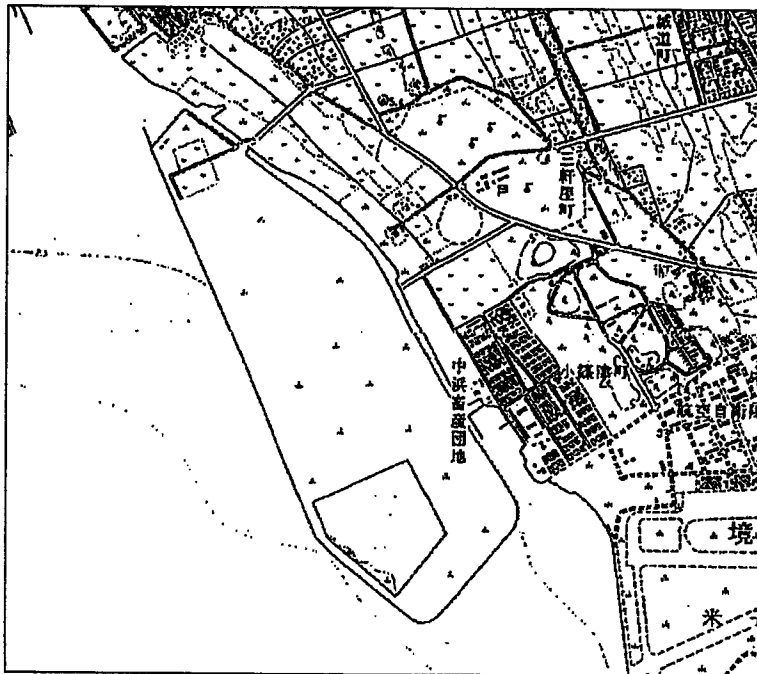
①大正 4 年



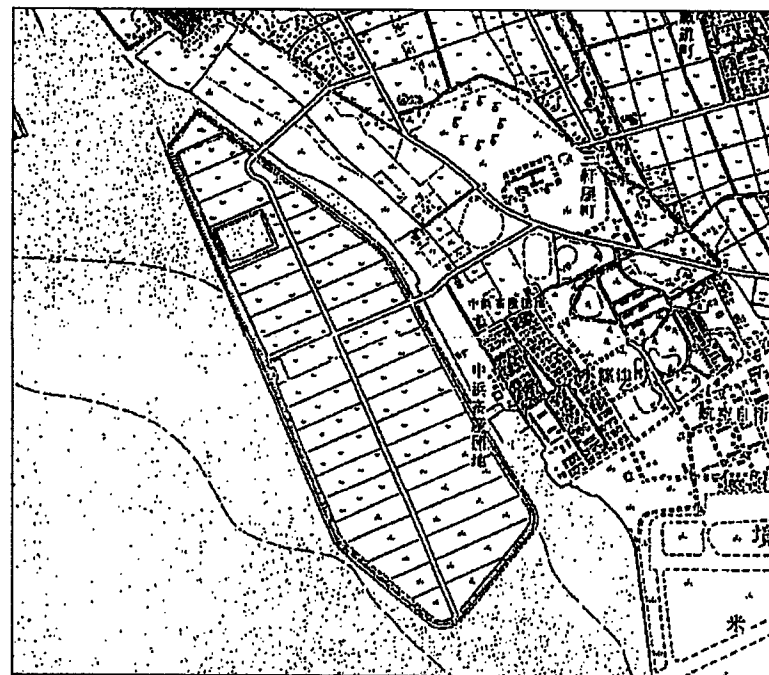
②昭和 50 年



③昭和 58 年



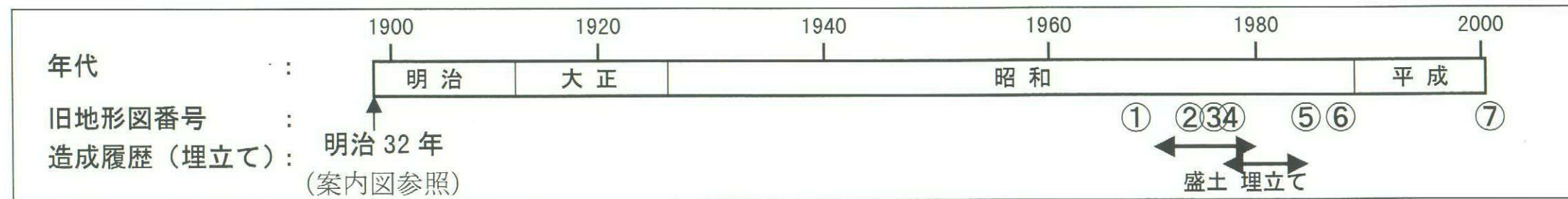
④平成 2 年



⑤平成 10 年



図 1 - 6 . 1 地形図による変遷 (弓浜干拓地)



弓浜干拓地

①昭和 42 年



②昭和 48 年



③昭和 50 年



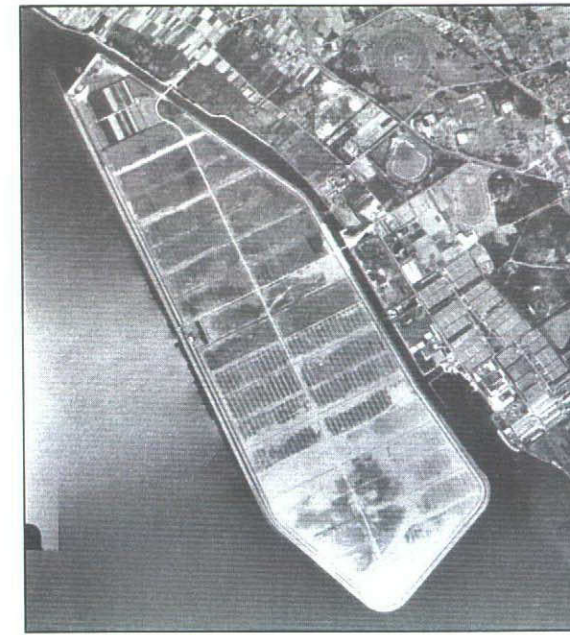
④昭和 51 年



⑤昭和 59 年



⑥昭和 62 年



⑦平成 12 年 10 月 7 日 地震直後

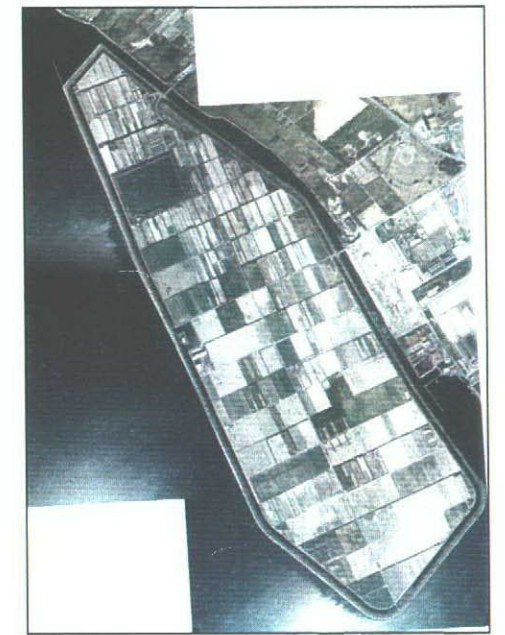


図 1-6. 2 空中写真による変遷 (弓浜干拓地)

1-7. 彦名干拓地

彦名干拓地は、弓ヶ浜半島の中海側に位置する幅0.7km、長さ約3.5kmの干拓埋立地である。干拓地の南西側は水鳥公園として整備されている。

1) 造成履歴

彦名干拓地は、昭和46年度から昭和59年の間に外周堤防の埋立整備が行われている。また、埋立工事は昭和51年に着手され現在に至っている。

2) 旧地形図

彦名干拓地において現在入手可能な国土地理院発行の地形図には以下の地形図がある。

- ① 大正4年
- ② 昭和50年
- ③ 昭和58年
- ④ 平成元年
- ⑤ 平成9年（現在発行されている最新地形図）

以上の年代における地形図を並べて変遷を示したものが図1-7.1である。

3) 過去の空中写真

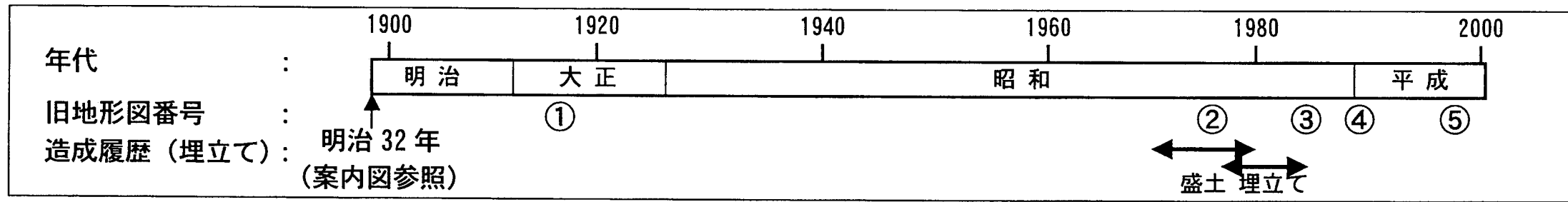
彦名干拓地において入手した空中写真を以下に示す。

- ① 昭和42年
- ② 昭和48年
- ③ 昭和50年
- ④ 昭和51年
- ⑤ 昭和59年
- ⑥ 昭和62年
- ⑦ 平成12年10月7日地震直後

以上の年代における空中写真を並べて変遷を示したものが図1-7.2である。

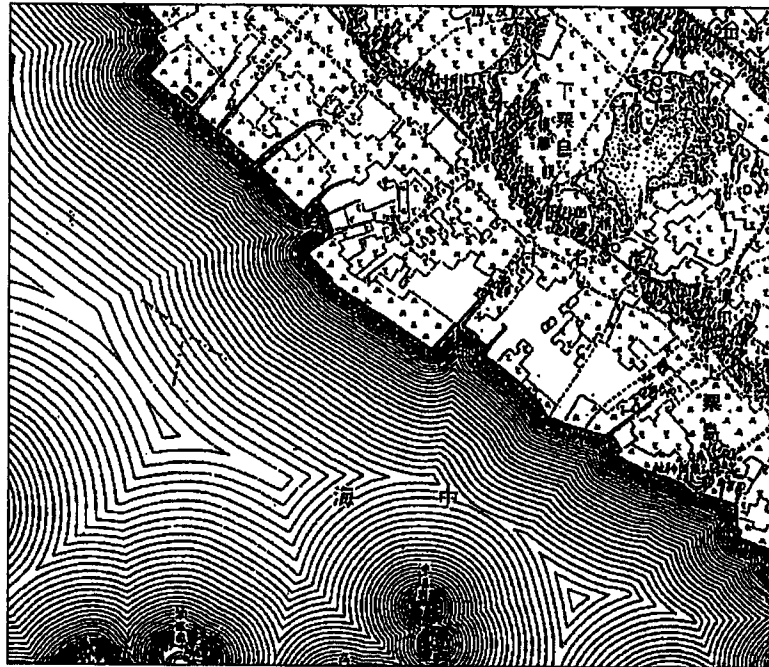
4) 埋立の時期・経緯

空中写真では、昭和48年頃から外周堤防が整備され始め、昭和62年には干拓がほぼ終了している。

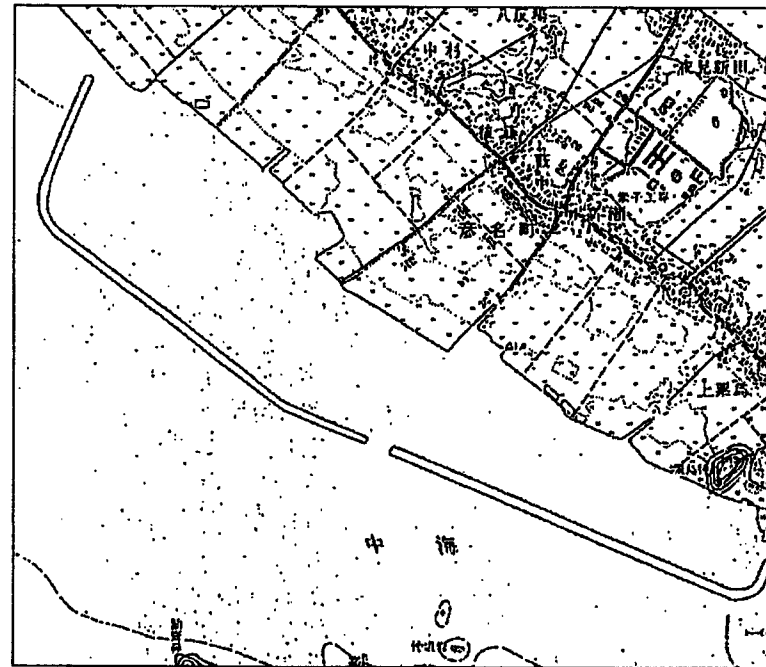


彦名干拓地

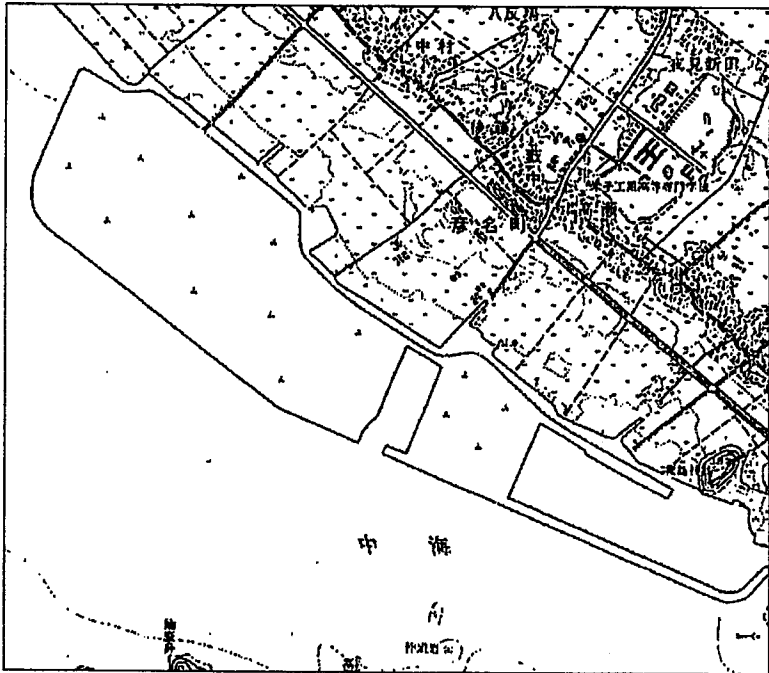
①大正 4 年



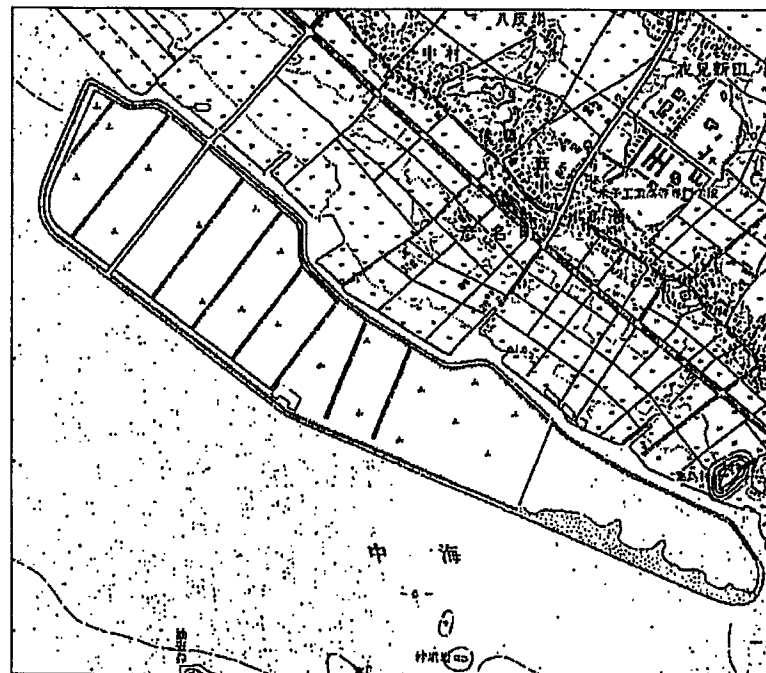
②昭和 50 年



③昭和 58 年



④平成元年



⑤平成 9 年

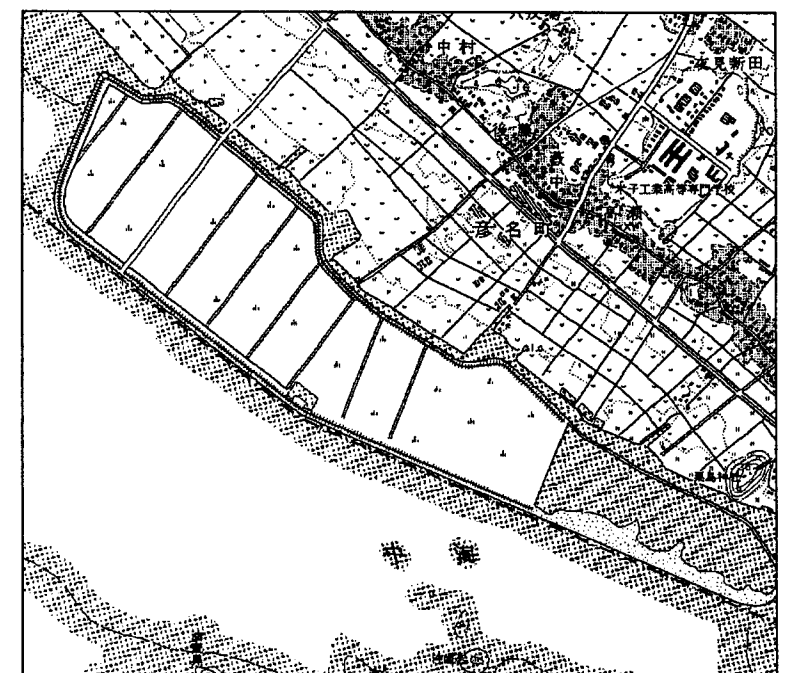
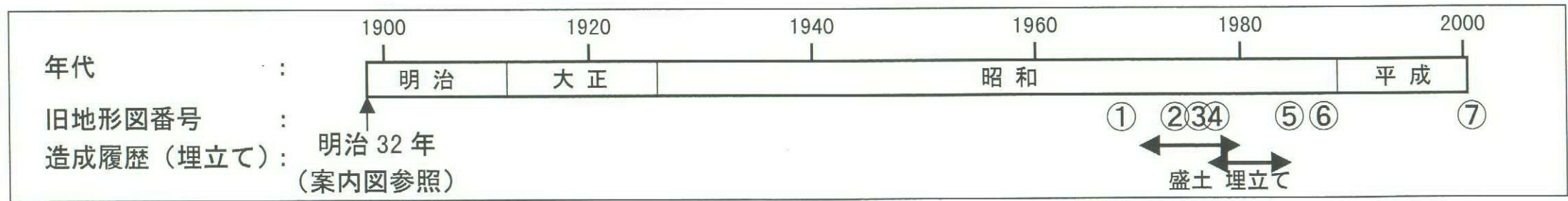
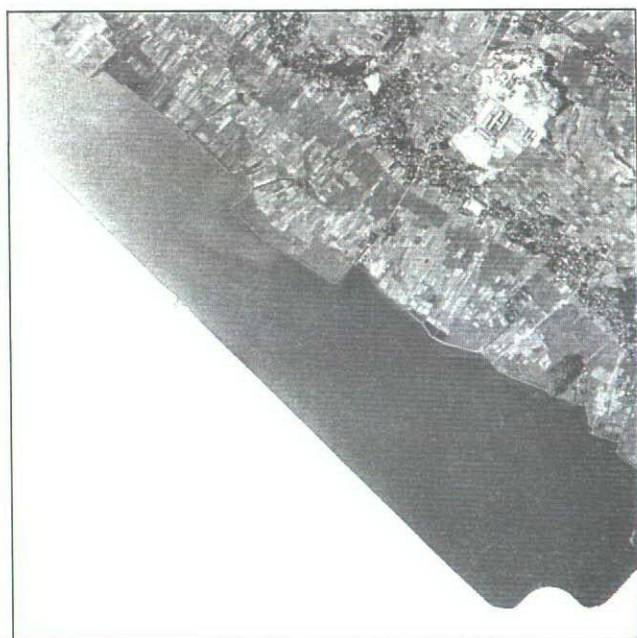


図 1 - 7. 1 地形図による変遷 (彦名干拓地)

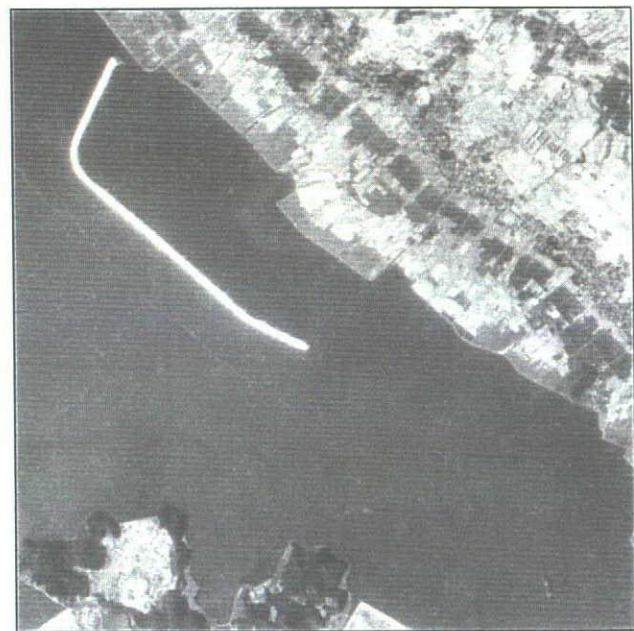


彦名干拓地

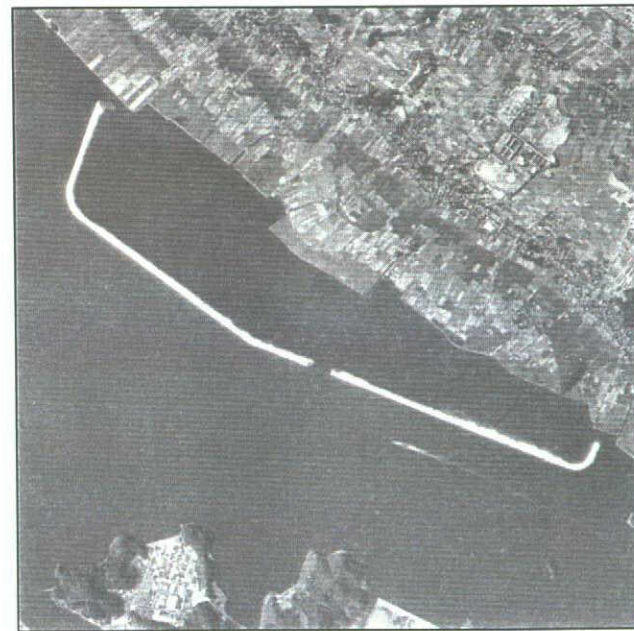
①昭和42年



②昭和48年



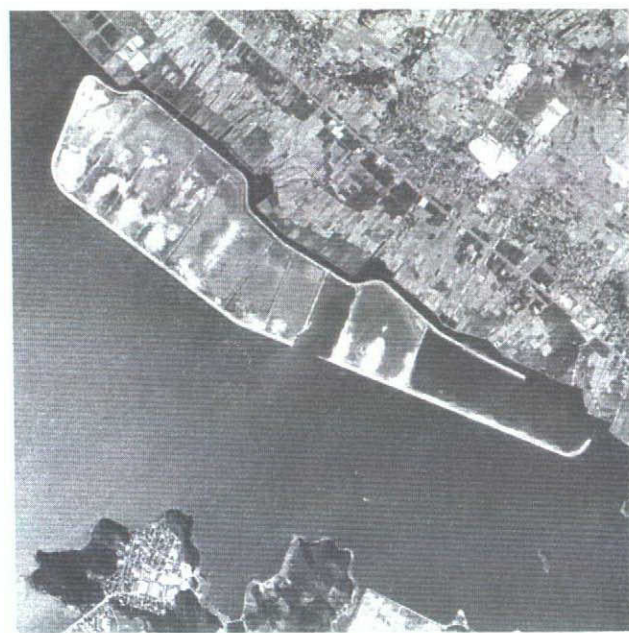
③昭和50年



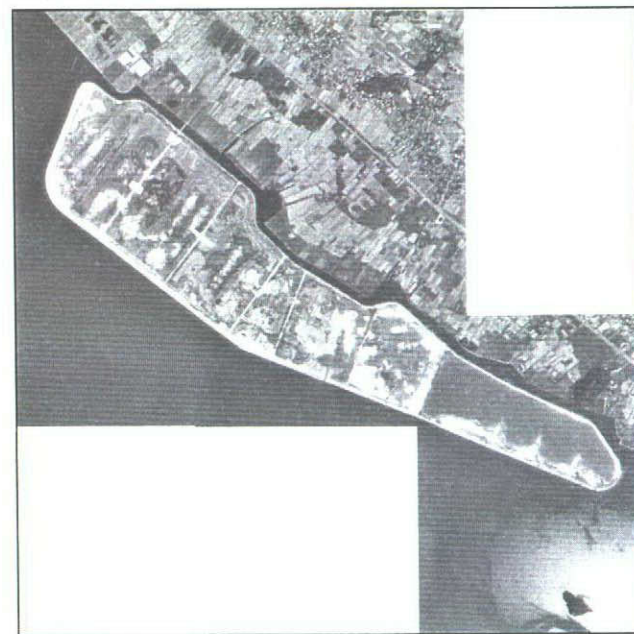
④昭和51年



⑤昭和59年



⑥昭和62年



⑦平成12年10月7日 地震直後



図1-7.2 空中写真による変遷 (彦名干拓地)

1-8. 米子港

米子港は、弓ヶ浜半島の中海側の付け根に位置する港湾埋立地であり、北東側には旗ヶ崎工業団地、また南側には錦海団地などの造成地がある。

1) 造成履歴

米子港は、中海と美保湾とを区切る弓ヶ浜砂州の中海側の付け根に位置している。弓ヶ浜砂州は、日野川左岸から中海と美保湾の間に突き出す全長 18km、幅 4km 前後の砂州であり、砂州の先端は境水道を挟んで島根半島に迫っている。砂州全般は、標高 TP+6m 程度以下であり、ほとんどが砂からなる低平地であるが、砂州の上の砂丘は TP+20m 程度を越えるものがある。米子港は海域を埋立造成した敷地である。

2) 旧地形図

米子港において現在入手可能な国土地理院発行の地形図には以下の地形図がある。

- ① 大正 7 年
- ② 昭和 52 年
- ③ 昭和 59 年
- ④ 平成 2 年
- ⑤ 平成 10 年（現在発行されている最新地形図）

以上の年代における地形図を並べて変遷を示したものが図 1-8. 1 である。

3) 過去の空中写真

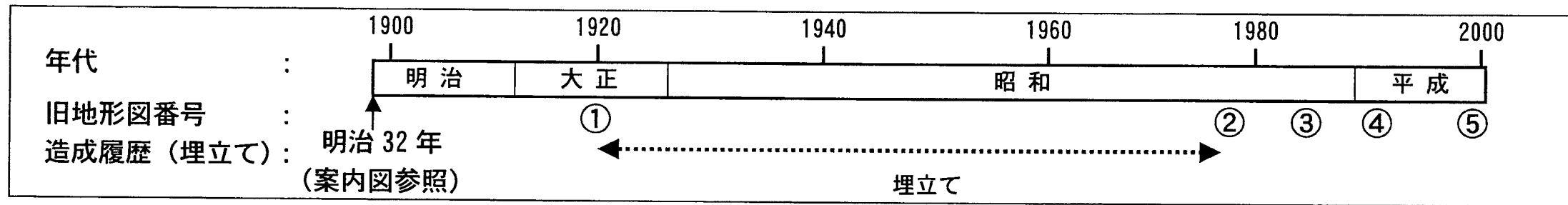
米子港において入手した空中写真を以下に示す。

- ① 昭和 42 年
- ② 昭和 48 年
- ③ 昭和 50 年（写真なし）
- ④ 昭和 51 年
- ⑤ 昭和 59 年
- ⑥ 昭和 62 年

以上の年代における空中写真を並べて変遷を示したものが図 1-8. 2 である。

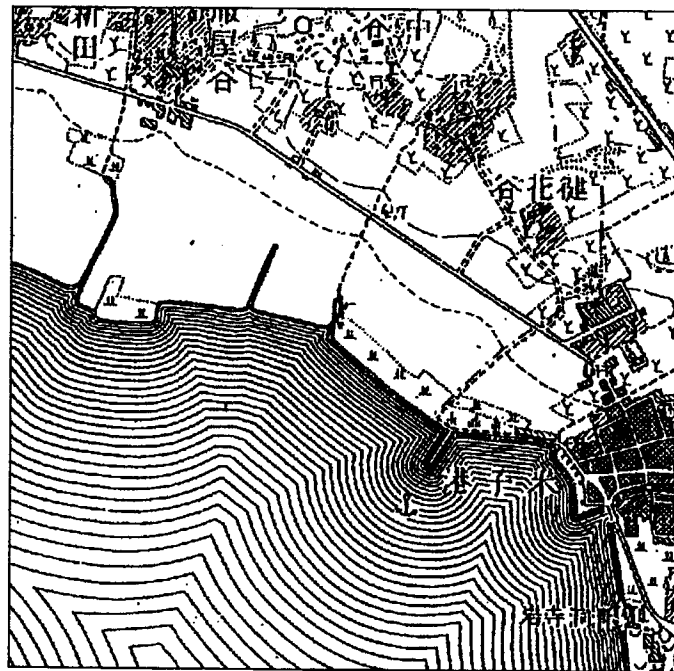
4) 埋立の時期・経緯

空中写真から、昭和 51 年頃から埋立が開始されており、昭和 59 年には既に埋立が完了している。



米子港

①大正 7 年



②昭和 52 年



③昭和 59 年



④平成 2 年



⑤平成 10 年

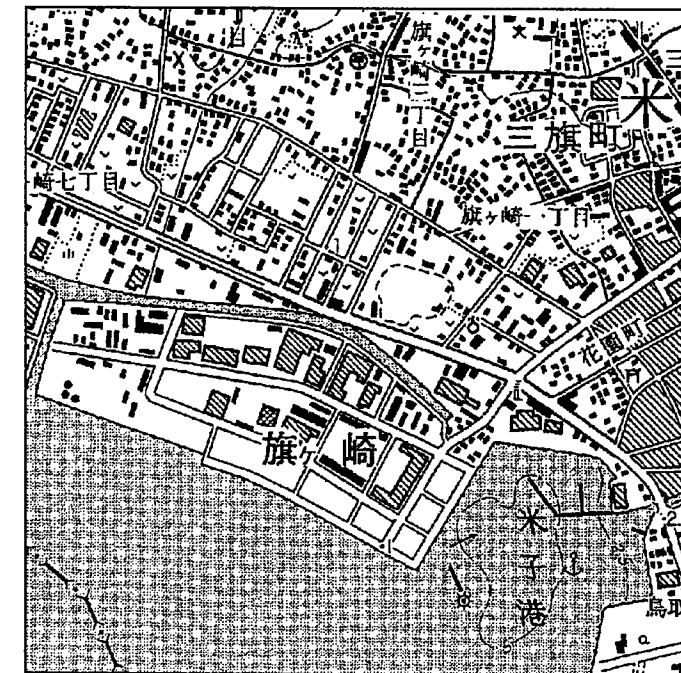
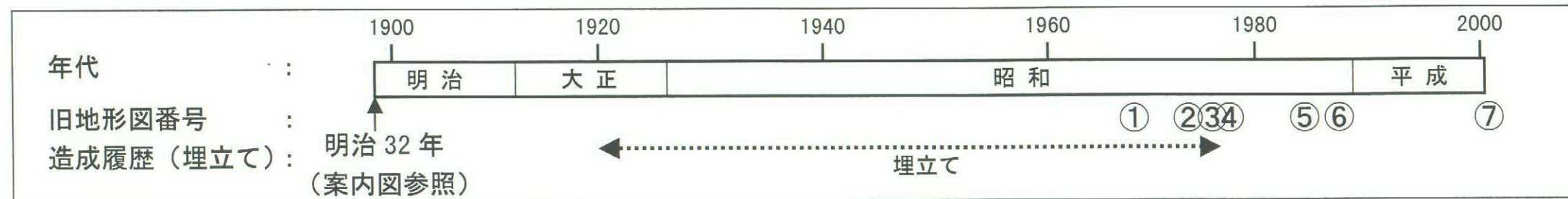


図 1-8. 1 地形図による変遷 (米子港)



米子港

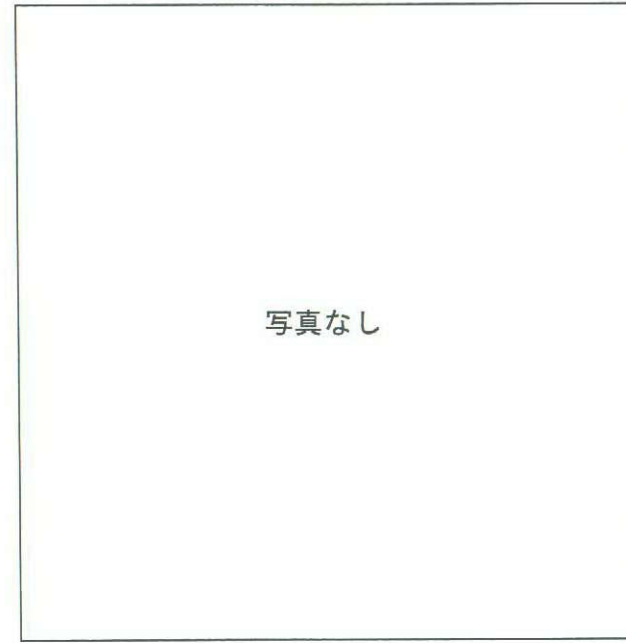
①昭和 42 年



②昭和 48 年



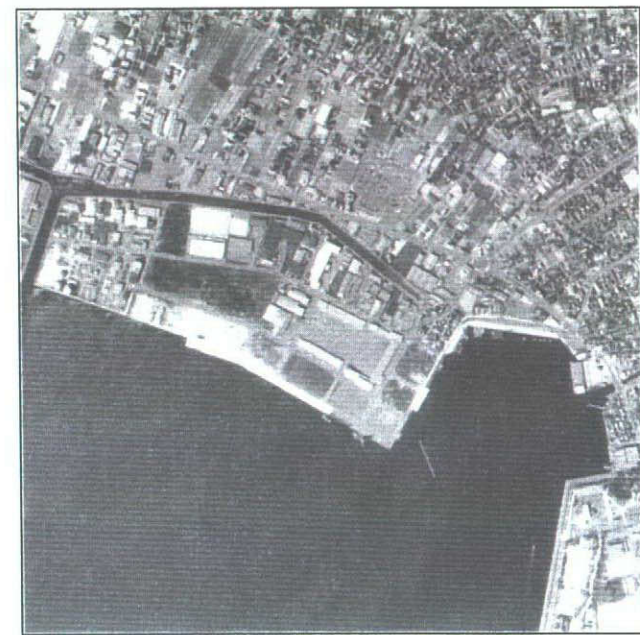
③昭和 50 年



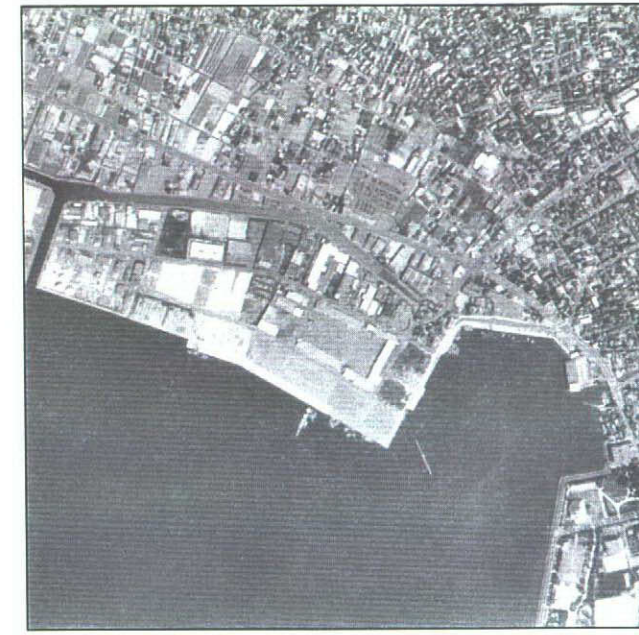
④昭和 51 年



⑤昭和 59 年



⑥昭和 62 年



⑦平成 12 年 10 月 7 日 地震直後



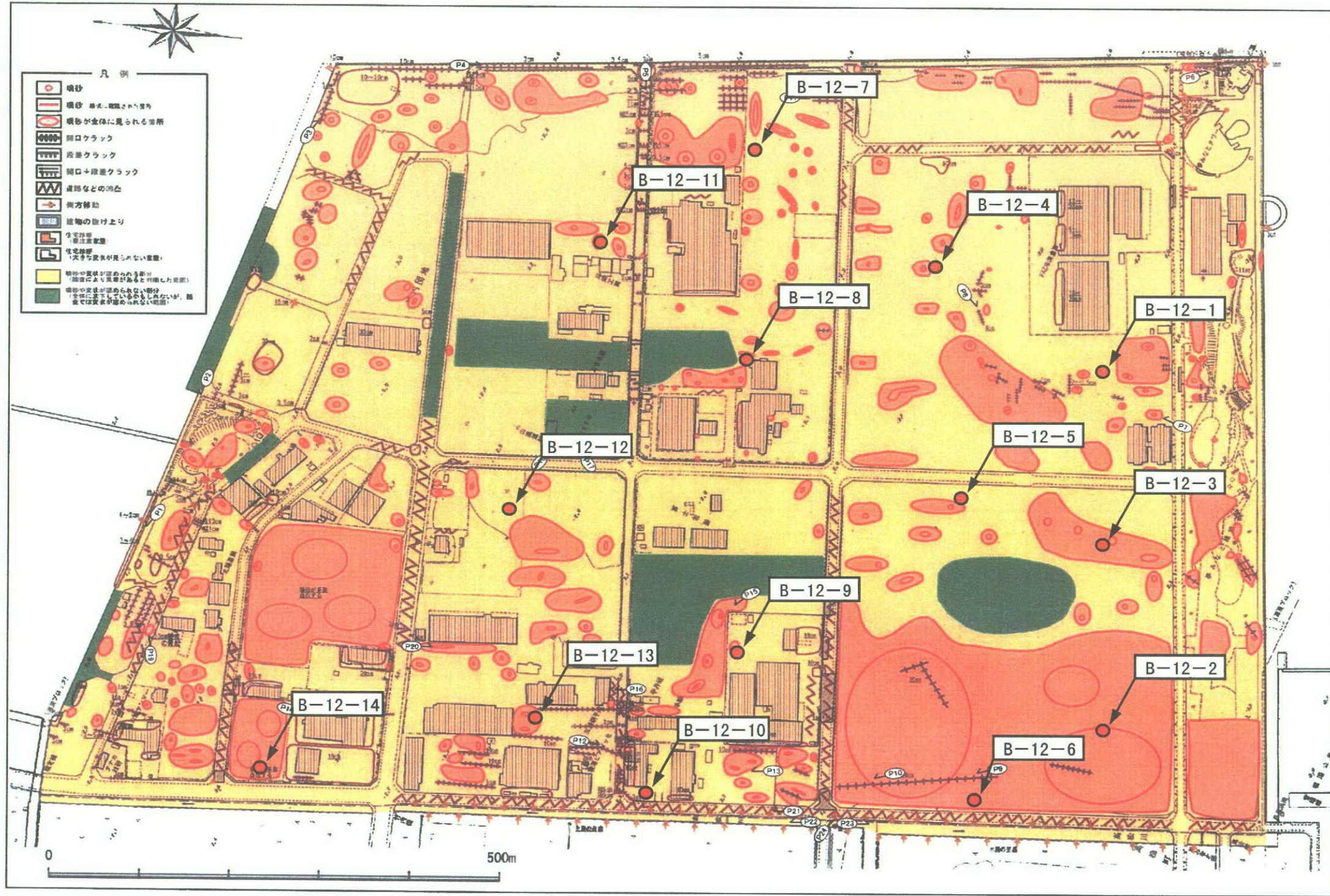
図 1-8. 2 空中写真による変遷（米子港）

＜巻末資料－２＞：竹内工業団地の液状化判定結果

２－１ 液状化判定した調査ボーリング位置

２－２ 液状化判定結果（B-12-1～B-12-14 地点）

液状化判定結果（竹内工業団地）



液状化判定をした調査ボーリング位置